

# オートファゴソーム形成の分子機構

**講演者： 野田 展生 博士**

**公益財団法人 微生物化学研究会  
微生物化学研究所 構造生物学研究部 部長**

**<日時> 令和元年 9 月 25 日 (水) 14 時~**

**<場所> 理学部 1 号館 1 階 106 号室 (BP1)**

**(生物学特殊講義 7 と同時開催)**

オートファジーは真核細胞における主要な分解系であり、生体の恒常性維持に働いている。オートファジーの最大の特徴は二重膜オルガネラであるオートファゴソームの新生を伴う点であり、オートファゴソーム内に隔離されたものは原則すべてリソソームへと運ばれ分解される。我々は構造生物学的手法と試験管内再構成により、オートファゴソーム形成の分子機構の解明を進めている。本講演ではオートファゴソーム膜が伸長、変形するメカニズムについて我々が得た知見を紹介するとともに、オートファゴソーム形成における液-液相分離の役割についても紹介する。

*Biophysics Seminar*

生物科学専攻生物物理学系

京都大学  
大学院理学研究科

TBL

朽尾 豪人

753-4215